

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。											
事務事業名	生涯学習事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない		予算科目	区分		一般会計		款	10	項	5	目	1	事業	4
担当部	教育委員会		担当課	生涯学習課		担当係	社会教育 係		作成者	秋葉 好和		内線(電話番号)	8410		シート作成日	H30.10.15		部長決裁日	H30.10.24		
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 :)										根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 :) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称 :)									

2 事務事業の目的										当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。											
現状課題	生涯学習社会の実現に向け、時代の変化に対応しながら市民の学習活動を支援しているが、講座・教室への若年層の参加が少なく、魅力のある企画の実施が課題となっている。さらに各施設において公民館まつりや音楽コンサート等のイベントを開催し、心のゆとりと共に自ら学習する意欲と能力を引き出し生涯学習の総合的推進を図ることが課題である。										誰・何を対象に	常総市市内在住・在勤者									
											どのような方法・手順で	社会教育施設を利用し、講座や演劇・音楽・特別企画展を開催する。ポスター、チラシや広報、ホームページを活用してPRする。									
											望ましい状態	一人ひとりのライフスタイルや地域、年齢、興味に応じたものを企画し、誰もが積極的に参加ができる学習機会を提供し、多くの市民が参加している状態。									

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。										
指標名	講座受講者数		単位	人		目標値	900		目標年次	平成 32 年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	過去の受講実績を勘案した数値とした。							

4 事務事業の実績 ㊦										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																				
年度	平成27年度					平成28年度					平成29年度																			
	業務名					業務名					業務名																			
事務事業を構成する主な業務	① 生涯学習講座・教室	20講座				① 生涯学習講座・教室	35講座				① 生涯学習講座・教室	32講座																		
	② 公民館まつり	1会場				② 公民館まつり	5会場				② 公民館まつり	6会場																		
	③ 公民館バスハイク事業	3地区				③ 公民館バスハイク事業	8地区				③ 公民館バスハイク事業	4地区																		
	④					④ 坂野家住宅お月見コンサート	1回				④ 地域交流センターリニューアルイベント「親子映画会」	1回																		
	⑤					⑤ 陸上自衛隊東部方面演奏会	1回				⑤ 坂野家住宅お月見コンサート	1回																		
	⑥					⑥ ねばねば音頭常総バージョン	1回				⑥ 茨城県警察音楽隊コンサート	1回																		
	⑦					⑦ 青少年の家ランドリニューアルイベント・日ハム野球教室	1回				⑦ 映画「ビリギャル」の上映及び講演会	1回																		
	⑧					⑧					⑧ 映画「サクラ花」の上映及び落語・トークショー	1回																		
	⑨					⑨					⑨																			
	⑩					⑩					⑩																			
	⑪					⑪					⑪																			
	⑫					⑫					⑫																			
目標値に対する実績値					603 人					目標値に対する実績値					819 人					目標値に対する実績値					562 人					
決算額	計	703,938 円		内訳	特定財源	円		一般財源	703,938 円		計	2,471,459 円		内訳	特定財源	円		一般財源	2,471,459 円		計	4,388,572 円		内訳	特定財源	508,000 円		一般財源	3,880,572 円	
	(住民一人あたりの行政コスト)					11 円					(住民一人あたりの行政コスト)					41 円					(住民一人あたりの行政コスト)					73 円				

5 担当者評価 ㊧										実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	目標未達成	市が主催で平成28年度まで続けた料理教室(開講している講座で最も受講者が多い)が一定の成果を得たため自主活動への移行を促した。平成29年度は、これに変わる新規講座を開講したが、前年度を上回る受講者数にならなかった。しかし新たな講座等への関心も高く受講者の伸びも期待できることから引き続き若年層及び親子等が参加できる講座、教室を開催し受講者の増加を目指す。																	
	問題点	平日昼間の時間帯の講座になると、受講者の年齢層が高い傾向にある。夜間の講座や土日に開催できる講師の確保が必要。																	

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由										若年層のみならず、「団塊の世代」の退職に伴い、生涯学習活動に対する要求は年々高まっている。それぞれのライフスタイルに応じた多様な学習機会を提供する必要があるが、現状の予算規模での実現を目指したため、現行どおりと評価した。									

7 実施計画 ㊩										今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。																	
年度	平成30年度					平成31年度					平成32年度																
	事業内容					事業内容					事業内容																
予算額	歳出	計				2,363 千円				歳出	計				1,963 千円				歳出	計				1,963 千円			
	歳入	特定財源		0 千円		特定財源		0 千円		特定財源		0 千円		特定財源		0 千円		特定財源		0 千円		特定財源		0 千円			
		一般財源		2,363 千円		一般財源		2,363 千円		一般財源		1,963 千円		一般財源		1,963 千円		一般財源		1,963 千円		一般財源		1,963 千円			
		計		2,363 千円		計		2,363 千円		計		1,963 千円		計		1,963 千円		計		1,963 千円		計		1,963 千円			

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成28年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。生涯学習で心身共に健康な生活となり、医療費が削減できれば一石二鳥である。また、公開講座から自主講座へ発展することは生涯教育に大きく寄与すると思われる。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪																			
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由										市民ニーズにあった講座の開催で、開講を楽しみにする市民が増え、自主講座として継続できるような企画を考えるべきである。将来的には、受益者負担の原則に則した運営方法の改善も必要である。									

11 事務事業の改善理由 ㊫										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容										受益者負担の原則に則り、講師謝礼等を参加費として徴収をする。また、講座参加者にアンケートを実施して、市民ニーズにあった講座を開催しサークル化及び自主運営を進める取組を行う。									